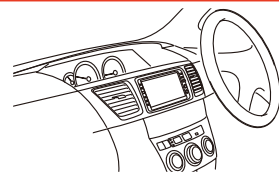


## 取付け前に

- 収納するタブレット・スマートフォンの大きさに合わせて角度を調整し、設置場所のシミュレーションと取付け場所の清掃を必ずおこなってください。
- 本製品は以下の場所には取付けることができません。
- ※ 経年車の場合は、取付け場所の劣化や変質による破損や脱落のおそれがありますので取付けできません。
- 取付け作業は、必ずお車を停止させ、エンジンを切った状態でおこなってください。
- 指定箇所以外の場所には絶対に取付けしないでください。
- ※ 無理な力による取付け・取外し、および使用は破損などの原因になりますのでご注意ください。
- 取付けるタブレット・スマートフォンの形状によって安定したホルドができない場合やホルダーの取付けが不安定な場合は使用しないでください。
- 本製品に充電機能はありません。



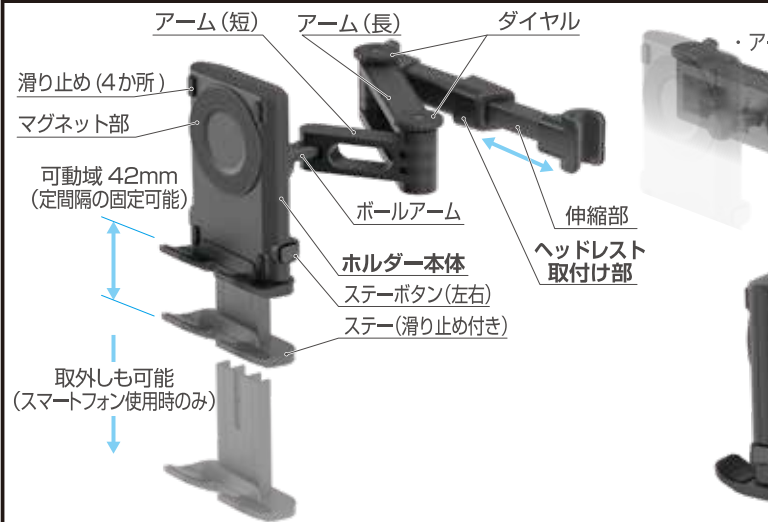
## 注意と警告

- 本製品は、道路運送車両の保安基準に抵触しないよう以下の場所には絶対に取付けしないでください。
- ※ 運転者前方視界の妨げになる場所。座席の前方向への取付け。  
(詳しくは、弊社 HP の前方視界基準の説明ページをご確認ください。  
<https://www.seikosangyo.co.jp/exea/frontv/>)
- ※ 突起物として危険の生じる場所 (とくにチャイルドシートの正面)。
- ※ 万一落下した場合に運転者の操作の妨げになる場所。
- 安全装置 (エアバッグ・シートベルトなど) の作動・効果を妨げる場所やステアリング付近。
- 本製品は強力な磁石を使用しています。
- ※ 心臓ペースメーカーを使用されている方は絶対に本製品を近づけないでください。
- ※ スマートフォンを取外す場合は本製品の磁石の跡などがつく場合があります。
- 本製品付属のクリーニングティッシュは、アルコールを含んでいます。  
アレルギーのある方は使用しないでください。
- 本製品はすべての車両への取付けを保証していません。  
常時強い振動が発生する車両(工事作業車など)への取付けはできません。
- 取付けは明るい日中におこなってください。
- 本製品の磁石は強力ですが、タブレット画面の端など、磁石から離れた位置を操作する際には、想定以上の荷重・負荷がかかり、容易に落下する危険があります。
- ※ 本製品のホルダー本体より外側の画面を操作する際は、必ずタブレットを手で押さえて操作してください。
- 運転者は本製品やご使用になる機器の操作は大変危険ですのでおやめください。  
また機器の着脱は、駐・停車中におこなってください。
- 本製品を取付けた状態でシートのリクライニングや、前後のスライド及びヘッドレストを上下などさせる場合は、必ず周囲を確認しながら操作をおこなってください。
- アームの穴や折りたたみ収納部などに指を入れるとケガなどをするおそれがありますので絶対にしないでください。
- ※ 小さなお子様自身の使用は絶対にしないでください。小さなお子様が居る環境での使用は、指を挟んだりしないように十分ご注意ください。
- 本製品はホルダー本体を、横向き、上下を逆さまにして使用はできません。



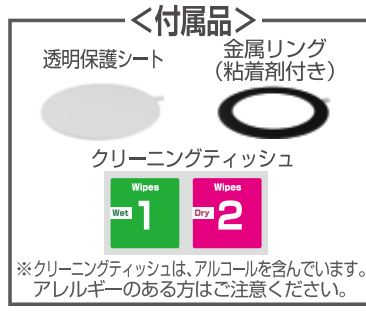
- 本製品が周辺と干渉の可能性がある場合は使用しないでください。  
また安全のため、ご使用にならないときは、できるだけアームを折りたたみ、格納してください。
- 収納する機器の形状によって安定したホルドができない場合は使用しないでください。
- 運転中に本製品やご使用になる機器の操作は大変危険ですのでおやめください。
- ※ 必ず車を安全な場所へ停車させてから接続・操作などをおこなってください。
- 収納する機器の形状によって安定したホルドができない場合は使用しないでください。  
走行中の激しい振動により、ご使用になる機器が落下する場合があります。
- ※ 不整地や路面の悪い道路を走行する場合は、本製品の使用を中止してください。収納物が落下し、事故につながる危険があります。
- ※ 急発進・急ハンドル・急停止でも、収納物が落下するおそれがありますので十分ご注意ください。
- ※ 収納物は振動や着脱でキズつくおそれがあります。キズつけないものは取付けしないでください。
- 直射日光などでホルダー本体が高温になっていると、マグネットの磁力が著しく低下する場合があります。
- 直射日光や高温になる場所での使用は、本製品及び車両側や接続機器の故障、破損の原因となります。
- 熱による製品本体、ご使用になる機器が、変形・破損・故障のおそれがありますのでご注意ください。
- 本製品にタブレットを取付けて使用する際は、必ずステータスを取付けた状態・可動域内でご使用ください。  
※ 不意の接触による落下事故を軽減させるためです。
- 本製品、並びに収納物を取付ける際やご使用中の落下、車両側に使用前との差異が生じた場合の損害(破損・キズ・変色・跡など)は、弊社では責任・補償を負いかねます。
- 耐熱・耐候性に優れた素材を使用していますが、炎天下の車内や経年劣化などで変形・変質する場合があります。
- 本製品は自動車専用です。他の用途にはご使用になれません。
- 画像はすべてイメージです。
- 本製品による取付けた機器の破損・消失(ご使用になる機器のメモリー・データ)に関して、弊社では責任を負いかねます。
- ※ 必ずバックアップデータを記録するように心掛けてください。
- 本台紙記載のご注意に従わない場合や、誤った取付け・分解・改造をされた際の事故・故障・損害につきましては、弊社では一切その責任を負いかねます。

## 部品一覧と名称・取付け寸法について



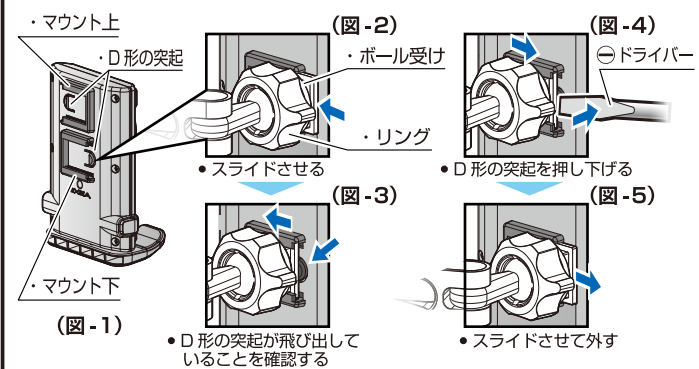
ホルダー 高さの目安: 60~260mm以内、  
収納範囲 厚さ: 16mm以内、耐荷重: 600g以下  
※ケースやストラップなどを含めた重さです。

ヘッドレスト取付け部 高さ: 40mm以上必要  
シャフトの直径: 14mm以下  
取付範囲 シャフト内側の幅: 120\*~150mm  
(\*ヘッドレストが取外せる場合は105mm~)



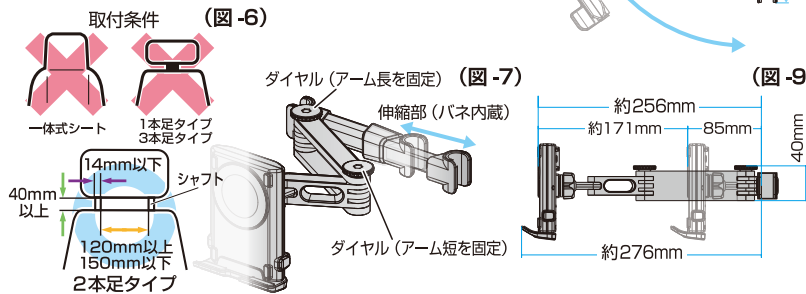
## マウントについて

- ホルダー本体背面にマウント上・下があり、取付位置を選べます。(図-1) (マウント下への取付けで説明します。)
- 横からスライドさせ、D形の突起を乗り越えて入れてください。(図-2)
- 奥までスライドさせて、D形の突起がボール受けの横に飛び出して、ボール受けが固定されていることをご確認ください。(図-3)
- ※ 固定が不十分だと、ホルダー本体とヘッドレスト取付け部が分離して、落下の危険がありますので必ずご確認ください。
- 取付位置を変更するときは、マウント横の突起を⊖ドライバーなどで押し下げながら、ボール受け・リングを横にスライドさせて外します。(図-4,5)



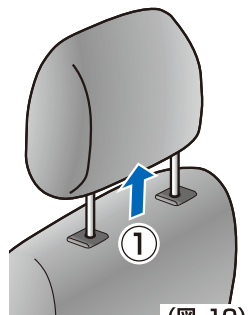
## ヘッドレスト取付け部・アームについて

- 下記の取付条件を再度ご確認ください。(図-6)
- 本製品の取付け部は、伸縮部の内蔵パネの力でヘッドレスト内側で突っ張り固定します。(図-7)
- ※ シャフトが細い場合は、取付け部が若干後ろに傾き、アームも斜めに下がる場合があります。
- アーム(長)は180°、アーム(短)は260°、ボールアームは210°の回転調整が可能です。(図-7)
- ※ 上下位置の調整はできません。
- 最大171mm手間に伸ばせます。(図-8, 9)
- ダイヤルで、長/短アームを可動/固定ができます。
- ※ ボールアームは固定できません。(図-7, 8)
- ※ 必ず本製品を手で押さえながらおこなってください。

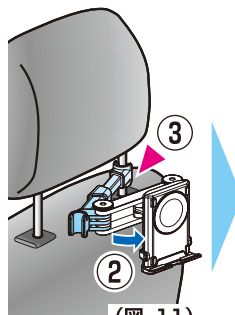


## ヘッドレストへの取付け

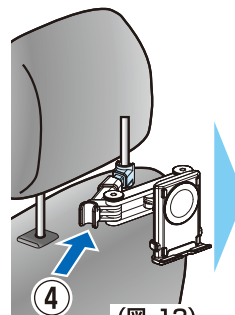
- ①ヘッドレストを40mm以上持ち上げます。(図-10)
- ②アーム(長)を少し広げ、③取付け部の伸縮部先端をヘッドレストのシャフトに押し当てます。(図-11)
- ④更に押し込んでバネを縮め、そのまま⑤反対側のシャフトの内側に通します。(図-12,13)
- ⑥力を緩めて、バネを伸ばし固定します。(図-14)
- ⑦本製品をシートに当たる位置まで下げ、⑧ヘッドレストも元の位置まで下げます。(図-15)



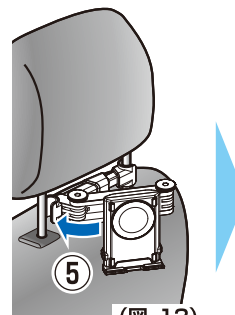
●ヘッドレストを持ち上げる



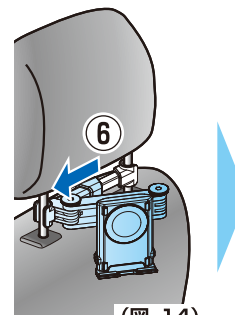
●アーム(長)を広げ、伸縮部先端をシャフトに当てる



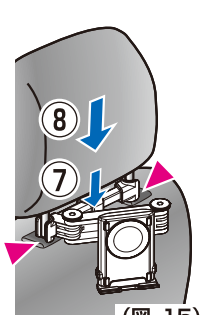
●伸縮部のバネを縮める



●シャフトの内側に通す



●力を緩めて、ばねで突っ張らせる



●本製品をシートまで下げて、ヘッドレストを元の位置にする

## 金属リングと保護シートの貼付けについて

●タブレット、Android スマホや Apple Magsafe に対応していない機種・ケースを使用する際は、保護シートと金属リングをタブレット・スマートフォンの背面、もしくはケースの背面に貼付けてご使用ください。

※ケースに貼付ける場合は、必ず背面外側に貼付けてご使用ください。ケースの内側では磁力が不足して十分な吸着力を確保できません。

またケースの種類・構造・材質によっても磁力が不足する場合があります。

※手帳型ケースや表面に凹凸のあるケースなどへは脱落のおそれがありますので取付けできません。

●Magsafe対応機種を使用する際は保護シートのみをタブレット・スマートフォンの背面、もしくはケースの背面に貼付けてご使用ください。

●保護シートの貼付け前に、タブレット・スマートフォンの背面またはケース背面をクリーニングティッシュで汚れ・ホコリ・油分などを落としてください。

①クリーニングティッシュ1(ウェット)を使用して清掃してください。(図-9,図-11)

②クリーニングティッシュ2(ドライ)を使用して水分を拭き取ってください。(図-9,図-11)

③タブレット・スマートフォンの背面、もしくはケース背面に保護シートの剥離紙をはがして保護シートを(タブレットの場合はできるだけ中心に)貼付けてください。(図-12)

④金属リングの剥離紙をはがして金属リングを保護シートの中心になるように貼付けてください。(図-13)

(図-9)

(図-10)

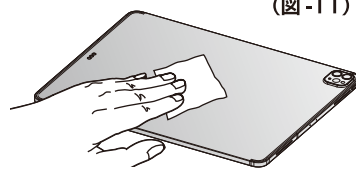
(図-11)

(図-12)

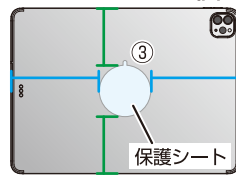
(図-13)

① Wetの中身のティッシュ(湿っている)で拭く

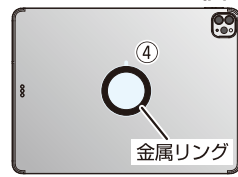
② Dryの中身のティッシュ(乾いている)で拭き取る



●よく水分を拭き取る



●タブレットの場合はできるだけ中心に



●金属リング

●貼付け直後は接着力が弱いのでご注意ください。両面テープの接着力が発揮される目安は貼付け24時間以降です。

## ご使用について

●貼付け24時間以上経過後に・・・

①シミュレーションで確認した位置(接地位置)にクッションを貼付けます。(上記:図-16)(ホルダー本体背面やカーブアームなど、本製品に貼付けてください)

②カーブアーム・ステーなどの調節をおこない、車両に貼付けたクッションが接するようにホルダー本体の位置を固定します。(上記:図-16)

③そのうえで本製品をご使用ください。

※タブレット・スマートフォンを取外す際は、必ずホルダーまたはアームを押さえながら取外してください。

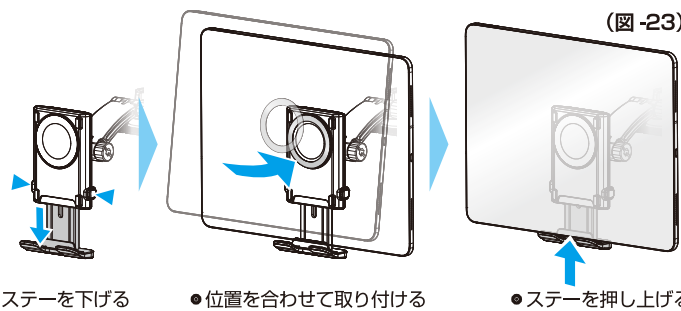
●タブレットをご使用の際は、必ずステーをご使用ください。

※タブレットの端に僅かな力が架かるだけでも、テコの原理でマグネット付近では大きな力となり、容易に外れて落下する危険があります。

※タブレット使用時は、ホルダー部を横向きで使用しないでください。

④左右のステーボタンを押しながら下げ、タブレット背面の金属リングと本製品のマグネット部を合わせて取付けます。(図-23)

⑤ステーをタブレットに接するまで押し上げてください。(図-23)



●ステーを下げる

●位置を合わせて取り付ける

●ステーを押し上げる

